

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	国際交流センター
評価基準 1	理念・目的
点検・評価項目(1)	1-1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
評価の視点	理念・目的の明確化
	設置の主旨や歴史からみた理念・目的の適切性
	個性化・独自性、国際化への対応
点検・評価項目(2)	1-2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
評価の視点	構成員に対する周知方法と有効性
	社会への公表方法
点検・評価項目(3)	1-3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 点検・評価

【点検・評価項目ごとの現状説明】

1-1	・1994 年度に設置された国際交流センターは、その目的を「本学と海外の大学、研究機関等との教育研究、学術及び文化の交流を推進し、もって本学の教育研究の充実、発展及び質的向上を図ること」と定めている（大東文化大学国際交流センター規程第 2 条）。 ・上記の目的をふまえ、2013 年度に「国際化に関する方針」を下記のように定めた。 本学は、「東洋の文化を基礎として西洋の文化を摂取吸収し、東西文化を融合して新しい文化の創造を目指す」建学の精神を、わが国と国際社会の変化に対応して、「多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」へと発展させ、広く世界に開かれた大学を目指す。 1. 教育研究の国際化の方針 本学は創立から 90 年を経て、地球的な視野に立った教育研究を推進し、日本と国際社会に貢献できる人材の育成を使命とする。そのために以下の 6 つの柱により国際化に対応した教育研究を行う。 (1) アジアから欧米までをカバーする幅広い語学教育の強化 (2) 多文化共生を目指す異文化理解教育の推進 (3) 国際的な広い視野と感覚の涵養のための国際教養教育の推進 (4) 教育研究における海外協定校との連携の強化（ダブルディグリー制度を含む） (5) 海外派遣プログラムの拡充 (6) FSD を活用した教職員のグローバルコンピテンシーの開発 2. 留学生の受け入れ方針 本学は、アジアを始めとして世界中から留学生を受け入れる。このために以下の 5 つの施策を進める。 (1) 海外協定校との連携強化 (2) 日本語教育の充実 (3) 奨学金の拡充 (4) 留学生の学習・生活支援と環境の整備 (5) 留学生のキャリア教育の強化 3. 国際交流の推進 (1) 海外拠点の増設と各拠点の機能強化 (2) 海外同窓会の拡充 (3) 留学生と地域との交流の推進
1-2	・「国際化に関する基本方針」は大学ホームページで公開され、大学構成員に周知が図られているが、その有効性については検証されていない。
1-3	・「国際化に関する方針」（教育研究、留学生の受入れ、国際交流の推進）に関して、国際交流センター（あるいは管理委員会）として、組織的かつ自発的な検証は行われていない。

【効果が上がっている事項】

1-1	・国際交流センターのホームページを充実し、毎週、「お知らせ」欄に最新のニュースを掲載する。さらに 2014 年 3 月、国際交流センター公式 Facebook を立ち上げ、学生目線に立った、かつ柔らかい情報発信に努める。
1-2	

1-3	
【改善すべき事項】	
1-1	・「国際化に関する方針」に基づいて、具体的な取り組みを設定する。
1-2	・「国際化に関する基本方針」国際交流センター管理委員会および国際交流センター事務室に共有情報として再周知を図る。一方、学生向けの周知として、国際交流センターホームページの表現を刷新する。 ・事務室内の情報共有として、「国際化に関する基本方針」の骨子やキーワードを人事課主導の「業務ミーティング」や「業務確認シート」（部署目標と個人別目標）に落とし込む。この作業により、国際化の基本方針と部署目標および個人別目標のリンクが図られる。
1-3	・2014年度、国際交流センター管理委員会に「自己点検・評価チーム」（仮称）を立ち上げ、定期的な検証を実行する。

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

・大東文化大学国際交流センターHP（http://www.daito.ac.jp/international_exchange/index.html） ・「国際化に関する基本方針」（2013年8月）、「点検・評価シート（国際交流センター）」（2013年12月） ・国際交流センター管理委員会議事録（2013年11月、12月）

《指標データ》

なし

Ⅲ【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価				
			2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～ 2018)	1-2 ・国際交流センター管理委員会 および国際交流センター事務室に 対して、「国際化に関する基本方 針」の周知と深化。	・管理委員会で周知する。 ・管理委員会自己点検部会と連携する。 ・国際交流センター事務室との業務計画 と連動する。	→				
	14年度 目標	1-3 ・国際交流センター管理委員会 に自己点検・評価部会を結成。 1-2 ・国際交流センターと国際交流 センター事務室の事業計画の連 動。	→	B			
		・管理委員会傘下に専門部会を設置する。 ・独自の自己点検作業を開始する。 ・「業務ミーティング」との連動。 ・部署目標等と合致させる。	→				